

# ホールディングカンパニー制移行後の 新ブランドについて

2015年8月18日

東京電力株式会社

※ホールディングカンパニー制移行後  
(2016年4月1日予定)

持株会社

東京電力ホールディングス株式会社



東京電力ホールディングス

燃料・火力発電事業会社

東京電力フュエル&パワー株式会社



東京電力フュエル&パワー

一般送配電事業会社

東京電力パワーグリッド株式会社



東京電力パワーグリッド

小売電気事業会社

東京電力エナジーパートナー株式会社



東京電力エナジーパートナー

### 事業会社

#### 東京電力フュエル＆パワー株式会社

英語名称：

TEPCO Fuel & Power, Incorporated

#### 東京電力パワーグリッド株式会社

英語名称：

TEPCO Power Grid, Incorporated

#### 東京電力エナジーパートナー株式会社

英語名称：

TEPCO Energy Partner, Incorporated

### 商号に込めた思い

フュエルは燃料。パワーは電力。  
ふたつを「&」で結ぶことで、  
燃料調達から発電までを高い次元で  
統合して価値を高め、  
進化したエネルギー事業者をめざす  
決意を込めました。

送配電網を表すパワーグリッドという  
言葉を、ストレートに社名とし、  
この事業領域を代表する  
存在に進化する決意を込めました。

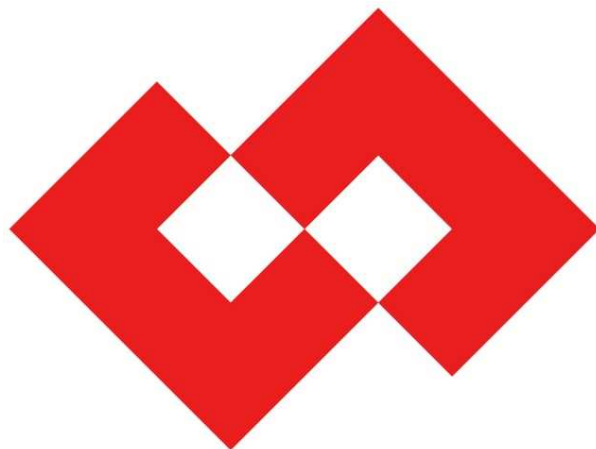
電気を含む多彩なエネルギー商品や  
サービスのご提供を通じて、  
あらゆるご要望に情熱というエナジーを  
もってお応えし、電力販売の枠を超えて、  
お客さまとともに発展するパートナーへと  
進化する決意を込めました。

The image shows the TEPCO logo in a bold, red, sans-serif font. The letters 'T', 'E', 'P', and 'C' are stylized with horizontal bars, while the 'O' is a simple circle. The entire logo is rendered in a vibrant red color.

コミュニケーションネームとして親しまれてきた「TEPCO」を、東京電力を代表するシンボルへと進化させました。エネルギー業界のリーディングカンパニーとしての先進的でグローバルな企業イメージを伝えていくマークです。

福島復興への責任を果たしていく決意を強く表すため、色はこれまでのコーポレートカラー「赤」を継承しています。

※ 3社は東京電力ホールディングス株式会社、東京電力フュエル&パワー株式会社、東京電力エナジーパートナー株式会社



常に電気を送り続けることを象徴するエタニティマークを、安定感がある直線図形で表現しました。がっちりとした握手にも見える形状は、お客さまや事業パートナーの信頼を絶対に裏切らないという意思を表しています。

グループ全体の一体感を表すため、色は東京電力ホールディングスのシンボルマークと同色です。

※ 送配電事業の中立性を担保するため、他の2つの事業会社とは異なる独自商標を使用します。

# 挑戦するエナジー。

「挑戦」という言葉には、「責任と競争」の両立を実現する、安定供給にとどまらずお客さまのよりよい暮らしを創造する、各事業領域で挑戦を続ける企業として真っ先にパートナーに選ばれる存在になる、という強い決意を込めました。

「エナジー」という言葉には、電気などのエネルギーと人々の情熱、さらには世の中の一人ひとりの挑戦を応援するエネルギーという意味が込められております。

# 挑戦するエネルギー。

The logo for TEPCO, consisting of the letters 'TEPCO' in a bold, red, sans-serif font. The 'T' and 'E' are connected, and the 'P' and 'C' are also connected. The 'O' is a simple circle.

私たちは福島を忘れない。

この決意を胸に、東京電力は大きく生まれ変わります。

私たちの挑戦。

それは、福島第一原子力発電所事故の責任を全うし、  
さらに廃炉という前例のない取り組みに立ち向かうこと。

日本で初めて、発電・送配電・小売事業を分社化し、  
エネルギー産業の新しい時代を切り開いていくこと。

安定供給にとどまらず、大胆なイノベーションで、  
お客さま一人ひとりのくらしや仕事のニーズに積極的に応えていくこと。

私たちは、エネルギーと情熱を「エネルギー」という言葉に込め、  
全力で挑戦し、かならず成し遂げていきます。

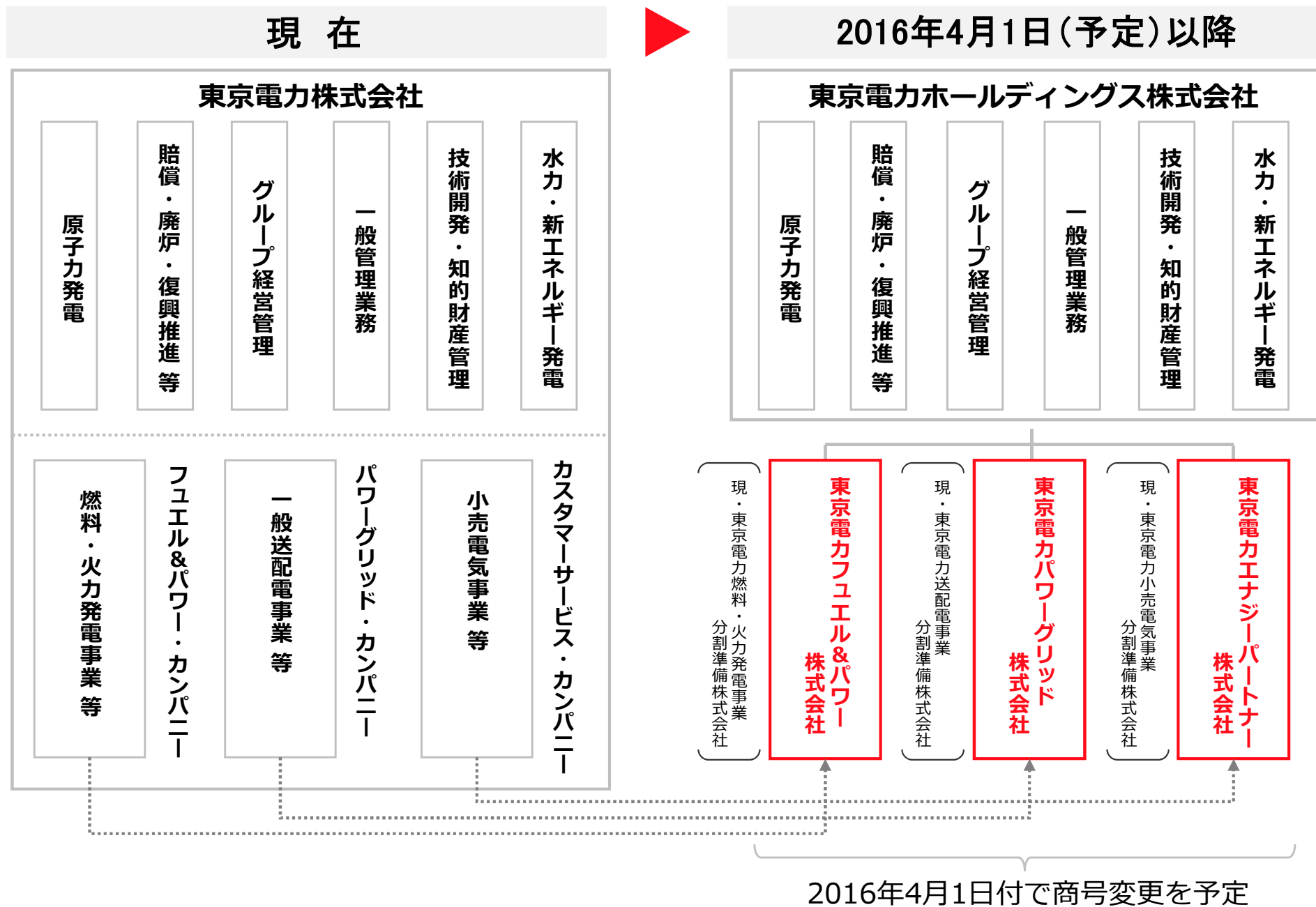
小売市場の全面自由化（2016年4月）、送配電部門の法的分離（2020年）など、電力市場は大きな変革期を迎えつつある。

このような環境において、当社は引き続き福島第一原子力発電所事故の責任を果たすとともに、低廉で安定的な電力供給を維持していく。



- 燃料・火力発電事業、一般送配電事業、小売電気事業を分社化することにより、各事業部門がそれぞれの特性に応じた最適な事業戦略を適用し、グループ全体の企業価値向上に取り組む。
- 持株会社は、賠償、廃炉、復興支援等に責任をもって取り組むとともに、グループ全体の経営戦略の策定や経営資源の最適配分等を行うことで、効率的な事業運営と競争力の強化に努める。
- こうした事業運営体制の構築を通じ、持続的な再生に向けた収益基盤を確立し、東京電力グループ全体として福島原子力事故の責任を全うするとともに、福島復興に向けた原資の創出とグループ全体の企業価値の向上をめざす。





## 東京電力ホールディングス

グループ経営管理  
水力・新エネルギー発電事業  
賠償・廃炉・復興推進等  
原子力発電事業 等

## 東京電力フュエル&パワー

火力発電事業（離島を除く）  
火力発電に係る燃料調達事業、資源開発事業 等

## 東京電力パワーグリッド

一般送配電事業 等

## 東京電力エナジーパートナー

小売電気事業  
ガス事業 等